

世界初！ 廃ガラスが消毒剤に

鳥インフルエンザ防疫に有効

ランドベル 量産化見越して予約受付始まる

産業廃棄物の収集運搬などを営む(有)ランドベル(尾道市高須町4797-1、藤川太一社長、電0848・55・9266)が製造する新素材「スーパーソル」を主原料に使い、鳥インフルエンザ防疫に有効な消毒剤を発明したと発表。廃ガラスを使ったリサイクル製品の二次加工品からできたもので、同技術によってウィルス不活性化剤が作られたのは世界初。今秋には量産化を目指しており、予約も始まっている。実際、広島・香川県内および台湾・フィリピンの養鶏業者から引き合いがあった。海外への展開も視野に入れている。

住まいるステーション
太基不動産 有限会社
Useful for you
 福山市川口町1-1-11 館 (084) 957-4388
<http://www.taiki-fdsn.co.jp>

同社は廃ガラスをリサイクルし、ガラス発泡資材「スーパーソル」を製造する工場を一昨年末に等岡市港町1-29に設けた。(株)トリム(沖繩県)が約20年前に開発



以下から、大・中・小・粉末と4種類の商品に分けられる。また用途に合わせて密度や比重も変えられる。そのスーパーソルから、同社ではこのほど人工ゼオライトを作る特殊加工を発明した(特許出願中)。ゼオライトはイオ

ン交換機能や吸着性に優れ、毒素や放射性物質のような有害な物質を吸着して無害化する働きがあるとされる。古来抗菌作用が高いとされてきた銀と混合した新製剤を開発し、さらに特殊な加工を施して「鳥インフルエンザ用消毒剤『P1リキッド』を生み出した」写真上。

もともとスーパーソル自体がマイクロン単位の穴が無数に開いている多孔質で、熱や薬品に強い無機鉱物性を示し、保水力も高く、水はけもよく、微生物の繁殖もしやすいもの。それがLSX型高品質ゼオライトへ生成したことで、さらに吸着・イオン交換機能が高まった。ウィルスにも対応できるのではないかと研究機関に持ちかけたところ、鳥インフルエンザ研究センターを抱える京都産業大学と共同研究が始まった。同ウィルスに10分間接触させたところウィルスが約10万分の1以下にまで減少したことが確認されたという。また同時に、散布してから10日間程度で成分が分解されて機能が失われることも判明した。これにより、使われた際には高い効果を発揮しながら、自然環境下では早期に安全な物質に変化することで、自然環境に優しい安心安全な消毒剤と証明された。今後はP1リキッドを自動



噴霧させる機械の開発を進めつつ、現在防疫に使われている消石灰(20kgあたり1千円程度)と同程度のランニングコストになるよう努力を重ねていくという。

藤川社長(38) 写真上 2の「鳥インフルエンザは今年に入ってから香川県で発生しました。世界で毎年のように甚大な被害をもたらしています。京産大鳥インフルエンザ研究センターの大槻公一センター長(獣医微生物学)も「新素材はより安く製造できる可能性があり、消石灰に代わる消毒剤として期待できる」と話しておられました。広島県の県産品として普及推進につとめ、県が取り組んでいるシリコンバレー進出にも参画したい。また鳥インフルエンザ以外の病原ウィルスにも不活性化効果があるか、検証を続けます」。

東京大学合格 おめでとうございます!

その他多数!!

九州大学 医学部 広島大学 医学部
 島根大学 医学部 早稲田大学・慶應義塾大学

医歯薬難関のための
内田数学塾

2018年(平成30年)4月10日 1623号 経済リポート
 ★「えほんはともだち」こぐま社絵本展▷4月20日〔金〕から6月24日〔日〕▷場=ふくやま文学館(福山市丸之内)▷料=一般700円、高校生まで無料▷問=電084・932・7010